

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 修学院地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間】 開所日 月曜日から金曜日（12月29日～1月3日休業） 開所時間 午前9時～午後5時 休日等営業時間外は窓口への連絡で携帯電話に自動転送され、携帯電話は職員が週ごとで持ち回り対応している。営業時間帯は日ごとに当番職員を配置しており、急な来所や電話相談にも対応。 【事業実施地域】 修学院第一学区、修学院第二学区 (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

・広報誌を発行し、単身高齢者訪問事業や各種地域団体、地域住民などに配布し年間通して広報活動を行っている。 ・認知症サポーター養成講座や地域行事の場で地域住民や関係者に対して認知症や権利擁護関係の啓発活動を行っている。 ・地域ケア会議Ⅰ～Ⅲを開催し、地域課題の抽出や検討、関係者の資質向上支援を行っている。 ・健康すこやか学級等で介護予防の必要性や個別の相談対応を行っている。 ・（専門職部会等で）研修会を企画し、圏域の介護支援専門員やサービス事業所に参加を促し、ネットワークの構築支援を行っている。 (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容 (参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

センター長/社会福祉士1名・主任介護支援専門員2名・保健師、看護師2名・介護支援専門員1名・事務職員1名配置。 (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
--

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業へ優先して発注するよう努めている。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

3356	人
------	---

(2) 相談延べ件数（実績値）

643	件
-----	---

(3) 収支実績

ア 令和6年度収入状況（単位：円）

委託料	26,602,100
介護保険収入	15,990,085
その他	50,242
収入計	42,642,427

イ 令和6年度支出状況（単位：円）

人件費	34,265,922
事業費	1,836,064
委託費	2,401,566
小額修繕費	1,500
その他	340,330
支出計	38,845,382

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

定期的なモニタリングでサービスにおける効果や満足度等を把握している。苦情を受け付けた場合はマニュアルに則り、所内で検討し改善に努めるとともに必要に応じて第三者委員への報告とアドバイスを求めている。その他、定期的な地域ケア会議や運営協議会、各種団体の定例会等において地域包括支援センターの活動に対しての意見を聴取している。

(2) 利用者満足度把握の結果

今後も様々な意見に迅速に対応し、安心安全な地域づくりに努める。

(3) 意見等への主な対応状況

利用者から相談等を受けた場合は各職員が専門性を生かして対応している。判断に迷うケースは所内全体で共有、検討のうえで対応している。

7 その他特記事項

(1)

介護予防に関して意識の高い地域であり、自主体操グループと公園体操を実施している。看護師2名体制であること、介護予防推進センターが近接していることの強みを生かし、グループ運営が継続できるよう協力して支援している。

(2)

ボランティアサークルが主体となって運営している認知症カフェ（毎月開催）の事務局として後方支援の役割を担っている。

8 評価（指定管理者自己評価）

令和6年度は新型コロナの5類感染症移行から1年以上経過したこともあり、高齢者や認知症に関する地域行事、会議等が盛んに催された。当センターも地域防災をテーマに参集形式で地域ケア会議等を開催した他、学区社会福祉協議会が主催する健康すこやか学級や地域の季節行事等に参加して認知症や消費者被害の啓発、熱中症予防の声かけ等を行った。
介護予防推進センターや地域福祉組織等と連携した取り組みは多く行えたが、圏域内の介護保険事業所と連携した取り組みについては良化の余地があると思われる。
地域ケア会議Ⅰの開催は2回に留まった。地域の介護支援専門員からの開催依頼は1度もなかったが、地域ケア会議Ⅰとして取り上げてもすぐに解決に結びつかないこともあるため、介護支援専門員が業務上の負担と感じていること等が要因と思われる。開催意義の周知も含めた案内に力を入れる必要があると思われる。